

民生文教委員会 所管事務調査報告書

令和8年4月28日

犬山市議会議長
大 沢 秀 教 様

民生文教委員長
久 世 高 裕

本委員会は、地方自治法第109条第2項及び犬山市議会会議規則第97条第1項の規定に基づき、下記の事項について調査したので、犬山市議会会議規則第102条の規定に基づき報告します。

記

1. 調査事項

図書館の在り方について

2. 調査目的

スマートフォンの普及などにより活字離れ、読書離れが問題視される中、時代に即した図書館の利活用、在り方について調査研究を行う。

3. 調査方法

(1) 先進地への行政視察

①岡山県高梁市

日 時 令和7年10月7日 午後1時30分から午後3時30分まで

場 所 高梁市立図書館

出席委員 6名（全員）

テ ー マ 高梁市立図書館について

主な内容

- ・ JR備中高梁駅直結で利便性が高く、指定管理者としてカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が運営している。スターバックスコーヒーや蔦屋書店、観光案内所が併設された複合施設である。年間来館者数は約50万人に達する。
- ・ 午前9時から午後9時まで開館をしており、幅広い世代の方の交流の場となっている。学生の学習室の利用も多い。
- ・ 年間200回以上のイベントを開催している。
- ・ 利用者アンケートでは、約90%が満足と回答している。

(2) 当局との意見交換（視察報告）

日 時 令和7年10月14日 午後1時01分から午後1時47分まで
場 所 第2委員会室
出席委員 6名（全員）
出席者 教育部長、文化推進課長
主な意見

- ・図書館リニューアルについて、具体的に進めていく必要がある。
- ・図書館が市民・若者の集える施設となるよう、活用法について協議検討をすすめる必要がある。
- ・図書館の収益化について検討したらどうか。
- ・図書館として本来あるべき機能は何かを再度考える必要がある。
- ・市民に親しみやすく、気軽に利用できる図書館として、カフェスペースを作ることを議論に加えるべきである。

(3) 現状把握（現地確認）

日 時 令和7年12月17日 午前10時30分から午前11時30分まで
場 所 犬山市立図書館
出席委員 6名（全員）
出席者 教育部長、文化推進課長、図書館長
主な内容 運営状況、取組など利用状況の説明を受け、現地を確認した。

(4) 委員間討議

日 時 令和7年12月17日 午前11時44分から午前11時50分まで
場 所 第2委員会室
出席委員 6名（全員）
主な意見 犬山市立図書館の現地確認を踏まえて、委員間討議を行った。

- ・すでに先進的な取組をしているが、さらに磨きをかけていくとよい図書館ができるのではないかと。
- ・今は子ども向けに注力しているが、幅広い世代をターゲットにできたらよい。
- ・雨漏りやクロス汚れなど、今後大規模改修が必要である。
- ・電子書籍等今の時代に合わせた取組も必要ではないかと。

(5) 市民との意見交換会

日 時 令和8年1月25日 午後2時55分から午後4時00分まで

場 所 犬山市民交流センターフロイデ
 出席委員 6名（全員）
 参加者 6名
 主な内容 「未来の図書館を考えよう」をテーマに行きたくなる図書館について、市民と意見交換を行った。

- ・車で来館した際の駐車場への出入りが難しく、危険である。
- ・トイレにユニバーサルベッドがなく、車椅子利用者には使いにくい。
- ・蔵書が多く、何を選べばよいのかわからない。新刊が分かりづらいので本の陳列に工夫が必要ではないか。
- ・話題の本や作家の特集コーナーがあってもよいのではないか。

(6) 図書館協議会委員との意見交換

日 時 令和8年2月5日 午後1時00分から午後1時55分まで
 場 所 犬山市立図書館
 出席議員 6名（全員）
 出席者 図書館協議会委員4名
 主な内容 図書館の現状と課題について意見交換を行った。
 （図書館協議会委員の意見）

- ・楽田ふれあい図書館の利用が少ない。
- ・読書習慣は未就学児からの定着が大事である。
- ・量よりも質の読書施策に転換が必要である。
- ・交流の場としての機能も必要である。

(7) 令和8年度犬山市一般会計予算への議案質疑

日 時 令和8年3月17日 午前9時57分から午後2時03分まで
 場 所 第2委員会室
 出席委員 6名（全員）
 主な内容 図書館に関する予算に対して質疑を行った。

- ・利用者数は増加傾向にあり、図書館は「本を借りる場」から「日常的に訪れる場」へと機能が変化している。一方で、騒音、マナー、スペース不足等環境面の課題も顕在化している。
- ・電子図書館については、導入費用や運営条件の整理が必要であり、現時点では検討段階にとどまっている。
- ・市では図書館単体ではなく、他の公共施設も含めた全体最適の中であり方を検討している。

(8) 委員間討議（調査結果まとめ）

日 時 令和8年3月17日 午後2時03分から午後3時18分まで

場 所 第2委員会室

出席委員 6名（全員）

主な内容 市への提言のため委員間討議を行った。

4. 調査結果

委員間討議を踏まえ、以下の4点について意見集約した。

- (1) 利用実態の変化を踏まえ、交流機能を含めた図書館の役割再整理を行うこと。
- (2) 電子図書館について、導入可否、費用対効果を含めた具体的検討を進めること。
- (3) 図書館の将来像について、市民参加型の検討（ワークショップ等）を早期に開始すること。
- (4) 公共施設全体の中で、図書館の位置づけを明確化し、スピード感を持って方向性を示すこと。